

### きょうの試合

(左のチームが一塁側)

◇はるか夢

▷準決勝

青森山田一八学光星(10・0)

八戸工一弘前東(12・30)

秋季県高校野球選手権は22日、弘前市のはるか夢球場で準決勝2試合を行う。東北大会出場枠は三つ。来春の選抜高校野球大会(センバツ)選出の参考となる東北大会へ向け、まず1勝を目指す4強。各校の県大会での戦いぶりを振り返る。

(秋村有香)

## 秋季県高校野球 きょう準決勝

# 八 工×弘 東 山田高×光 星

### ともに勝負強さ健在

昨秋の県大会以降、春える上、4強で最少失点、夏と無冠の青森山田は新失策0と攻守で力を見せる。投手陣は山田、後藤チームで東北大会出場、を軸に層が厚く、打撃盗塁、8犠打という機動力と手堅さを備えた攻めで加算。2回戦で本塁打を放った主砲佐々木、2試合先発出場の主戦堀田ら、夏の県大会経験者を中心にチームを引っ張る。八戸工は東北大会出場を果たした2004年以來、再び県大会の準決勝で顔を合わせる。八学光星にリベンジを果たせるか。

夏の甲子園出場の八学光星は、今大会2試合をコールドで勝ち上がるなど強さは健在。本塁打は計3本、打率は4割を超

た攻撃で得点を奪う。一方で計6失策と守備が課題か。弘前東の強力打線を相手に、持ち前の粘り強さで挑む。2年連続で東北大会出場の弘前東は本大会、2試合とも七回コールドで快勝した。計12回を投げた主戦澤田は4失点と好投。打線も穴がなく、チームで本塁打1本を含む長打7本と強打力を見せつけ、着実に点を奪う。春夏秋を通じ、県大会優勝には届いていない。地元のはるか夢球場で自校の歴史を塗り替えられるか。まずは決勝進出を目指して八戸工を迎え撃つ。

### 機動力か強力打線か